大滝ダム水源地域ビジョン 概要

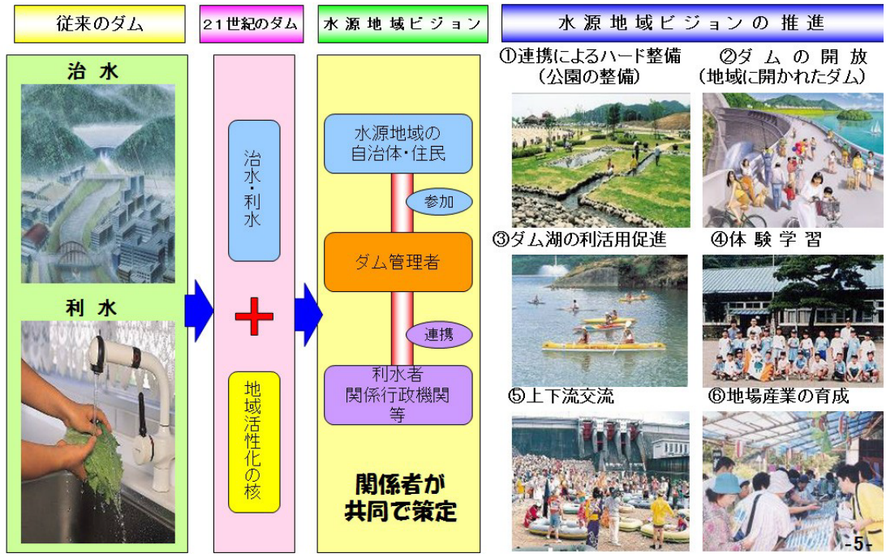
国土交通省

①水源地域ビジョンとは

「水源地域ビジョン」とは、ダムを活かした水源地域の自立的、持続的な活性化のために、水源地域の自治体、住民等がダム事業者・管理者と共同で策定する水源地域活性化のための行動計画です。

「水源地域ビジョン」には、ダム及びダム周辺の豊かな自然及び水源地域の伝統的な文化活動等を利用した水源地域の自立的、持続的な活性化の方策とともに、ダム事業者・管理者及び関係行政機関等が行う支援方策等を定めることとされています。

出典:「水源地域ビジョン策定要綱(平成13年4月12日国土交通省)」



水源地域ビジョンのイメージ

②大滝ダム水源地域ビジョンの背景(水源地の取組み)

吉野川(紀の川)の源流域にある川上村は、“かけがえのない美しい森と水”とともに、豊かな暮らしを育むため、全国に向けて「川上宣言」を発信しました。吉野川(紀の川)源流に位置する村として、人工林・天然林を含む山を守ることで、命の源たる水を守るという使命を全うするとともに、第6次川上村総合計画の「いつまでもみんなで誇りのもてる水源地の村づくり」を目標に水源地の森の保全や和歌山市との「水源地保護に関する協定」の締結、水のつながりプロジェクト等さまざまな取組みを展開しています。

川上宣言

- 私たち川上は、かけがえのない水が作られる場に暮らす者として、下流にはいつもきれいな水を流します。
- 私たち川上は、自然と一体となった産業を育んで山と水を守り、都市にはない豊かな生活を築きます。
- 私たち川上は、都市や平野部の人たちにも、川上の豊かな自然の価値に触れ合ってもらえるような仕組みづくりに励みます。
- 私たち川上は、これから育つ子ども達が、自然の生命の躍動に素直に感動できるような場を作ります。
- 私たち川上は、川上における自然との付き合いが、地球環境に対する人類の働きかけの、素晴らしい見本になるよう努めます。

水源地の森

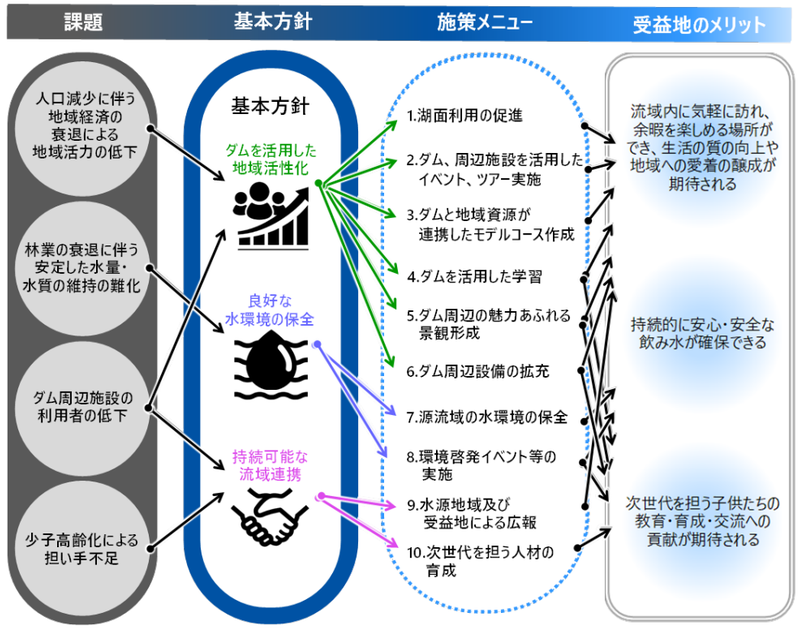
和歌山市との協定

水のつながりプロジェクト
(おかげ米贈呈式)

③大滝ダム水源地域ビジョンの基本構想

水源地域である川上村は、「地域活力の低下」、「安定した水量・水質の維持の難化」、「担い手不足」等の課題を抱えており、ビジョンではそれらの課題の解決に向け、基本方針と各基本方針に対する施策メニューを設定しました。

これらの課題を解決することで、受益地では「生活の質の向上や地域への愛着の醸成」が期待され、「安心・安全な飲み水の確保」ができ、「次世代の子どもたちの教育・育成・交流への貢献」が期待されます。



湖面巡視体験の継続・発展

ダム周辺設備の拡充

水源地域の森林保全・再生活動の継続

水のつながりプロジェクトの広報・展開

【具体的な施策の例】

④ビジョンの推進体制・推進スケジュール

ビジョンの実効性を確保するため、「大滝ダム水源地域ビジョン推進連絡会(仮称)」を原則年1回開催し、各施策メニューの実施主体から、施策メニューの実施計画、進捗状況、課題を共有するとともに、意見交換、アイデア・情報共有を行います。また、「大滝ダム水源地域ビジョン委員会(仮称)」を原則2年に1回開催し、ビジョンの進捗状況の確認を行うとともに、ビジョンの見直しなど、重要事項の協議や検討を行います。

ダムを活かした水源地域の活性化に向けて、短期的には、既存活動を継続し、中期的には、新規活動のうち、ハード整備を必要としない施策を実施し、長期的には、新規活動のうち、ハード整備を必要とする施策を実施します。

【推進スケジュールの例】

施策	施策内容	短期(1～2年)	中期(3～4年)	長期(5年～)
4.ダムを活用した学習	(9) ダム、周辺施設を活用した学習	既存活動の継続		
	(10)ダム見学新聞コンクールの継続	既存活動の継続		
	(11)ダム湖周辺への植樹・景観整備	既存活動の継続		
5.ダム周辺の魅力あふれる景観形成	(12)各見晴らしスポットに必要な環境整備			見晴スポットの環境整備・情報周知
6.ダム周辺設備の拡充	(13)環境整備		事業化に向けた検討・調査	周辺施設の拡充・整備 管理システムの整備

大滝ダム水源地域ビジョン委員会(仮称) ※原則2年に1回開催

役　割:ビジョンの更新内容の確認・承認

参加者:川上村※、紀の川ダム統合管理事務所、奈良県、和歌山県、和歌山市※、橋本市※

※首長

策定・審議・答申 ⇩ ⇧ ・ビジョンの進捗点検 ・ビジョンの見直し等の重要事項の協議や検討

大滝ダム水源地域ビジョン推進連絡会(仮称) ※原則年1回開催

役　割:施策メニューの実施計画・進捗状況・課題の共有、意見交換、アイデア・情報共有等

参加者:川上村、紀の川ダム統合管理事務所、奈良県、和歌山県、和歌山市、橋本市、施策メニューの実施主体の団体・企業等

※主に大滝ダム水源地域ビジョン策定準備会メンバー

【施策メニューの実施主体】
①施策メニューの進捗状況・今後の課題、実施計画等報告

②実施計画に関する意見交換、アイデア・情報共有

【施策メニューの実施主体】
③施策メニューの実施・改善

【推進体制】

※参加者は、同会議の動向により、随時増やします。